

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2008年02月29日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2007000044"/>	整理番号 <input type="text" value="11112"/>	担当者 <input type="text" value="谷中 秀臣"/>
表 題	物性測定装置及び物性測定方法		
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text" value="生活・文化"/>
適用製品	粘弾性体の材料・製品, 品質管理(製造工程, 検査工程, 経時変化)		
目 的	軟体物(例, ゼリー, コンニャク, 寒天, 肉, 魚, ゼル・ゲル等), 弾性体(例, ゴム, スポンジ, テニスボール等)や生体部位(例, 臓器, 器官, 眼球等)など, 弾性・粘弾性を有する物体の性状を測定する際に, 最適な非接触式物性測定装置及び測定方法の提供。		
技術概要	<p>従来の接触式粘弾性測定装置において, 硬い圧子をゼリーのような軟らかい対象物に押し当てることは, 対象物を傷つけたり破損させたり, また衛生面の問題も生じる。さらには瞬時に一定荷重を与えることの困難さや経時的変形量に伴う荷重変動の問題も起こり, 対象物の粘弾性特性を正確に捉えることは難しい。</p> <p>これらを解決する手段として, ノズルから噴射される流体を圧子として用いる。この方法は, 対象物の表面に流体を瞬時に, かつ一定時間負荷した後, 瞬時に停止できる特長を有する。またこれらの現象を瞬時に計測できる装置でもある。したがって, 発生したくぼみの直径や深さの経時変化から, 対象物の粘弾性特性を精度良く計測することが可能である。衛生的にも安全であり, 非常に軟らかい対象物を計測するには最適である。</p>		

技術移転等をご希望の場合は, 下記事項をご記入の上, 本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp